

高校生活の1日1日の積み重ねが、皆さんの人生を左右します。

新型コロナウイルスの影響で、授業だけでなく体育大会縮小、榕樹祭りモートといった、これまでの先輩方より窮屈な高校生活を過ごしている現状ですが、皆さんが進路を決める大切な時は確実に近づいています。

<3年生>

・これから進路試験を受ける者

現役生は、最後まで伸び続ける。自分を信じて、努力を続けよう。安易な道に流されず、最後まで志（目標）を持って頑張り続ければ、必ず道は開かれる。

・進路決定者

就職先、進学先で活躍できる自信がどれほどあるのだろうか？合格した瞬間、学ぶことをやめてしまうと学力だけでなく内面的な成長も止まってしまう。新たなスタートに向けて、残された喜高での時間を有効に使って、学力・人間力をより高めてもらいたい。そして、最後の一人まで、仲間が進路を決定するのを応援しよう。

<2年生>

全国的に2年生3学期は、「3年0学期」と呼ばれ、進学試験や就職試験がスタートしていく。新年からは受験生になるという意識をもってほしい。競争相手（ライバル）は、島外あるいは他県にいる。そのほとんどが、高校入学段階で、受験の苦労を経験しているということを肝に銘じてほしい。

就職希望だけでなく推薦で進学を希望する人も、「誰からも推薦される価値のある自分」になるよう努力しよう。受験では、面接や作文・小論文等で志望動機や目的意識が深く問われる。その場しのぎの内容は簡単に見抜かれる。学習面・生活面において、受験生としての準備ができているか、今一度、自分を振り返ってみよう。

<1年生>

高校生活が1年経過しようとしているが、自分自身にどれほどの成長を認めることができるだろうか。中学校の延長の気分はなくなっただろうか。文理選択や教科選択など、進路実現に向けて真剣に考え進むべき道を選ぶ大事な時期である。家族や親戚、帰島される先輩等とも色々話をして、将来の展望、進路目標を明確にしてほしい。「今」の延長線上に、「受験」、「進路決定」という日が来るのは間違いない。決して今から走り始めて早いことはない。

〜〜〜勉強十戒〜〜〜

- | | |
|------------------|-------------------|
| 一. 学習の計画を立てよう。 | 計画のないところに成功はない。 |
| 二. 精神を集中しよう。 | 集中の度合いが理解の度合いである。 |
| 三. ムダをはぶこう。 | 戦略の第一は時間の配分にある。 |
| 四. 勉強法を工夫しよう。 | 工夫なき勉強に能率の向上はない。 |
| 五. 自己のペースを守ろう。 | 他をみればスピードはおちる。 |
| 六. 断じて途中でやめるな。 | 中断はゼロである。 |
| 七. 成功者に耳をかたむけよう。 | 暗夜を照らす灯だ。 |
| 八. 現状に対し臆病になるな。 | 逃避は敗北である。 |
| 九. 失敗を謙虚に反省しよう。 | 向上へのクッションがそこにある。 |
| 十. 大胆にして細心であれ。 | 小心と粗放（そほう）に勝利はない。 |

*粗放：おおざっぱなこと。やりっぱなし。

「勉強十戒」とは、旺文社の創業者である赤尾好夫さんが、高校生・大学受験生のために自ら創造し、送り続けたメッセージです。次代を担う若人に向けて贈られたこのメッセージが誕生してから、すでに半世紀近く経っていますが、社会は変化しても色あせない名言といえます。将来の夢の実現を目指し頑張るみなさんに伝えたい「十戒」です。